

○●○肢体不自由の障がいについて知ろう○●○

病気やけがなどによるまひや欠損等により、上肢や下肢・体幹などの運動機能の一部または全部に障がいがあるため、起立、歩行、階段の昇降、物の持ち運び、机上の物の取扱い、書写、食事、衣服の着脱など、日常生活の動作や姿勢の維持が不自由な状態をいいます。

病気や事故で脳に損傷を受けた場合には、言語障がいや記憶力の低下等を伴うこともあります。

困っていること

- ・車いすを利用していると、段差があつたり、通路に物が置いてある時に移動できないことがあります。
- ・高いところにあるものや床にあるものなどを取ることが困難です。
- ・手にまひがあると、文字を書いたり、お金の扱い等がうまくできません。
- ・一定の体温を維持することが困難な場合、部屋が寒いと感じても、体温調整ができません。
- ・言語障がいに加え、顔や手足などが自分の思いとは関係なく動いてしまう場合（不随意運動）は、コミュニケーションをとるのが難しいです。

サポートするときのポイント

- ・肢体が不自由な人の障がいの部位や程度はさまざま、個人差があります。まずは、視線の高さを合わせて、サポートが必要かを確認した上で支援しましょう。
- ・車いすを押す場合、動かすときや止めるとき、進行方向を変更するときは、事前に声をかけましょう。車いすに乗っている人は何が起こるのか予測がつき安心してすることができます。
- ・体温調整の難しい人のため、自分が適温だと思っても、「寒くないですか」などと確認をするようにしましょう。
- ・言語障がいがあり、話されていることがわかりにくい場合は、わかったふりをせず、文字で書いたり、丁寧に聞き返したりして、きちんと内容を確認しましょう。

ヘルプマーク

義足や人工関節等を使用している人、内部障がいや難病の人、妊娠初期の人など、援助や配慮を必要としている人にヘルプマークを配布しています。

ヘルプマークを身につけている人を見かけたら、声をかけ、意思を確認してサポートしましょう。

外見では健康に見えても、障がいのために疲れやすかったり、突発的な出来事に対して対応することが困難な人がいます。みなさんの配慮をお願いします。

